

吹田市議会議員

いけぶち佐知子 通信

NEWS未来にまっすぐ

2014年 No.3

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 TEL&FAX 06-4861-7418

総合計画は継続

十二月定例会から継続審査になっている総合計画について、財政総務委員会が審査しました。

十一月定例会で私を含めほとんどの委員が修正を求めたり、追記を求めたりしたにもかかわらず、基本的に十二月議会提案と変わらず。地域別計画を追加します、と自信满满で説明されたことについても、委員が求めているのは地域別計画であるのに、追加したのは地域別の現状分析のみでした。

これでは、委員会での意見を真摯に受け止めました、とは到底考えられません。

また、私は総合計画というのは市の最高位の計画であって、この総合計画を柱に各種の計画がぶら下がっている、あるいは広がっている、つながっていると考えているのですが、パッと見てもつながっているんじゃないの？と思うような計画も書かれておらず、これでは、市の総合的な行政計画だとは考えられません。

このようなことから、委員会としては次回まで継続することにしました。

予算審査での意見

市有地の未利用地についての管理をしっかりといただきたいこと（今はしっかりといるようですが、以前はだれのものかわからないようなものが置かれていたこともありま

す）
市庁舎の樹木管理に高齢者就労の団体や障害者の団体にできるだけ委託できるようにしてほしいこと

土地売却収入については、基金につき、一般財源化しないようにすること（全額いったん基金につき、基金を取り崩すときにまた議会に提案し承認を得るようにすること）などについて質疑し要望しました。

専門的知見の活用

議員提案で議会改革特別委員会で話し合っていた「専門的知見の活用」の際に必要な費用弁償について、現在の費用弁償条例を一部改正する条例提案をしました。

議会改革特別委員会で、全委員の合意がとれていれば、委員会提案議案として提出できたのですが、あるいは、賛否を問うて、賛成多数で委員会を決めていけば、できたのですが、反対の委員さんが、ました。

そのため、委員の有志で本会議に提案することになりました。

本会議の最終日、議員提案した結果、条例改正は承認されました。これで、専門的知見の活用も、実際に運用しやすくなります。

少しずつですが、議会改革は進んでいます。

いけぶち佐知子のプロフィール

1957年 和歌山県生まれ。

1979年 大阪大学薬学部卒業。薬剤師。

1994年 吹田市立女性センター（現 男女共同参画センター）の非常勤職員として再就職。

自宅マンション裏の開発問題をきっかけに、市政に関心を持つ。

市民のための政治を求め、吹田市議会議員選挙に立候補。

1999年4月 初当選。現在、吹田市議会議員（4期目）。

環境、福祉、まちづくりの市民団体に所属し、市民活動にも励んでいる。